



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月4日

上場会社名 株式会社南都銀行

上場取引所 東

コード番号 8367

URL https://www.nantobank.co.jp

代表者(役職名) 取締役頭取

(氏名) 橋本 隆史

問合せ先責任者(役職名) 常務執行役員 経営企画部長

(氏名) 田原 久義 (TEL) 0742-27-1552

配当支払開始予定日

—

特定取引勘定設置の有無

無

決算補足説明資料作成の有無

: 有

決算説明会開催の有無

: 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	75,467	17.7	16,604	33.4	10,784	21.2
2024年3月期第3四半期	64,097	6.6	12,440	△5.1	8,891	△7.3

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 △2,343百万円(-%) 2024年3月期第3四半期 24,172百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	342.13	—
2024年3月期第3四半期	280.01	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	6,844,495	290,841	4.2
2024年3月期	6,787,056	298,631	4.4

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 290,841百万円 2024年3月期 298,631百万円

(注) 「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	40.00	—	74.00	114.00
2025年3月期	—	60.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	63.00	123.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 配当金の内訳 2024年3月期末 普通配当 40円00銭 特別配当 34円00銭

2025年3月期末(予想) 普通配当 63円00銭

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,500	11.2	13,000	7.9	409.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

除外 1社(社名) 南都ビジネスサービス株式会社

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2.(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2.(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	33,025,656株	2024年3月期	33,025,656株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	1,619,926株	2024年3月期	1,270,759株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	31,519,718株	2024年3月期3Q	31,754,520株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)	6
(会計方針の変更に関する注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(重要な後発事象)	7
3. 補足情報	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期の連結経営成績につきましては、経常収益は、貸出金利息及び有価証券利息配当金の増加により資金運用収益が増加したことや、役務取引等収益が増加したことなどから、前年同四半期と比べ113億70百万円増加して754億67百万円となりました。

一方、経常費用につきましては、営業経費が増加したことや、預金利息の増加により資金調達費用が増加したことに加え、国債等債券売却損の増加によりその他業務費用が増加したことなどにより前年同四半期と比べ72億6百万円増加して588億62百万円となりました。

以上の結果、経常利益は前年同四半期と比べ41億63百万円増加して166億4百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期と比べ18億92百万円増加して107億84百万円となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期末における連結財政状態につきましては、総資産額は前連結会計年度末比574億円増加して6兆8,444億円となりました。純資産額は、その他有価証券評価差額金が減少したことなどから前連結会計年度末比77億円減少して2,908億円となりました。

主要勘定の残高につきましては、預金は、個人預金や法人預金が増加したことから、前連結会計年度末比1,168億円増加して当第3四半期末残高は5兆9,145億円となりました。

また、貸出金につきましては、企業向け貸出や住宅ローンが増加したことから前連結会計年度末比2,118億円増加して当第3四半期末残高は4兆3,824億円となりました。有価証券につきましては、国債や地方債が増加したことなどから、前連結会計年度末比719億円増加して当第3四半期末残高は1兆5,330億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月10日に公表しました計数から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
現金預け金	963,526	736,867
コールローン及び買入手形	1,892	-
買入金銭債権	1,494	857
金銭の信託	40,967	41,319
有価証券	1,461,095	1,533,013
貸出金	4,170,554	4,382,451
外国為替	1,225	2,101
リース債権及びリース投資資産	28,239	30,349
その他資産	79,357	66,480
有形固定資産	41,795	49,018
無形固定資産	4,842	4,952
繰延税金資産	6,278	10,608
支払承諾見返	7,216	7,699
貸倒引当金	△21,430	△21,224
資産の部合計	6,787,056	6,844,495
負債の部		
預金	5,797,765	5,914,579
譲渡性預金	5,738	52,679
債券貸借取引受入担保金	253,137	199,437
借入金	355,656	304,430
外国為替	797	694
信託勘定借	4,104	3,667
その他負債	51,073	57,710
退職給付に係る負債	11,680	11,491
睡眠預金払戻損失引当金	190	165
偶発損失引当金	926	952
株式報酬引当金	123	129
特別法上の引当金	3	3
繰延税金負債	11	11
支払承諾	7,216	7,699
負債の部合計	6,488,425	6,553,653
純資産の部		
資本金	37,924	37,924
資本剰余金	34,749	34,749
利益剰余金	208,825	215,362
自己株式	△3,413	△4,612
株主資本合計	278,085	283,424
その他有価証券評価差額金	14,232	△2,862
繰延ヘッジ損益	6,575	10,475
退職給付に係る調整累計額	△262	△195
その他の包括利益累計額合計	20,545	7,417
純資産の部合計	298,631	290,841
負債及び純資産の部合計	6,787,056	6,844,495

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
経常収益	64,097	75,467
資金運用収益	37,760	50,164
(うち貸出金利息)	27,604	31,594
(うち有価証券利息配当金)	7,778	15,278
信託報酬	20	19
役務取引等収益	18,195	19,668
その他業務収益	2,468	2,618
その他経常収益	5,653	2,995
経常費用	51,656	58,862
資金調達費用	5,757	7,765
(うち預金利息)	205	2,113
役務取引等費用	10,306	11,063
その他業務費用	3,691	5,582
営業経費	29,847	31,972
その他経常費用	2,052	2,478
経常利益	12,440	16,604
特別利益	93	0
固定資産処分益	93	0
特別損失	101	88
固定資産処分損	101	88
税金等調整前四半期純利益	12,432	16,515
法人税、住民税及び事業税	3,670	4,616
法人税等調整額	△128	1,115
法人税等合計	3,541	5,731
四半期純利益	8,891	10,784
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,891	10,784

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	8,891	10,784
その他の包括利益	15,280	△13,127
その他有価証券評価差額金	12,642	△17,094
繰延ヘッジ損益	2,536	3,899
退職給付に係る調整額	101	67
四半期包括利益	24,172	△2,343
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,172	△2,343

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

南都ビジネスサービス株式会社は、2024年11月11日清算終了したことから、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更に関する注記)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「法人税等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、法人税等会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(役員報酬B I P信託)

当行は、当行の取締役(社外取締役、監査等委員である取締役及び国内非居住者を除く。以下同じ。)を対象とした役員報酬B I P信託を導入しております。

1 取引の概要

役員報酬B I P信託は、中長期的な業績向上と企業価値増大への貢献意欲を高めることを目的とした役員インセンティブ・プランであり、役位や業績目標の達成度等に応じたポイントが当行取締役に付与され、そのポイントに応じた当行株式及び当行株式の換価処分金相当額の金銭が当行の取締役退任時(監査等委員でない取締役を退任し、監査等委員である取締役に就任した場合を含む。)に交付又は給付される株式報酬型の役員報酬であります。

2 信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する会計処理

当該信託契約に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成27年3月26日)に準じております。

3 信託が保有する自社の株式に関する事項

- (1) 信託における帳簿価額は、前連結会計年度末134百万円、当第3四半期連結会計期間末330百万円であります。
- (2) 信託が保有する自社の株式は、株主資本において自己株式として計上しております。
- (3) 期末株式数は、前連結会計年度末68千株、当第3四半期連結会計期間末125千株であります。期中平均株式数は、前第3四半期連結累計期間70千株、当第3四半期連結累計期間95千株であります。
- (4) 上記(3)の期末株式数及び期中平均株式数は、1株当たり情報の算出上、控除する自己株式に含めております。

(セグメント情報等の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	銀行業務	リース業務	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	54,190	7,528	61,719	2,320	64,040	56	64,097
セグメント間の内部経常収益	979	380	1,359	2,098	3,458	△3,458	—
計	55,170	7,908	63,079	4,419	67,498	△3,401	64,097
セグメント利益	12,074	103	12,177	1,180	13,358	△917	12,440

- (注) 1 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。
 2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、信用保証業務、不動産賃貸・管理業務、ソフトウェア開発等業務、クレジットカード業務及び証券業務等を含んでおります。
 3 外部顧客に対する経常収益の調整額56百万円は、主に「その他」の償却債権取立益であります。
 4 セグメント利益の調整額△917百万円は、セグメント間の取引消去に伴うものであります。
 5 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業務	リース業務	計				
経常収益							
外部顧客に対する 経常収益	64,876	8,073	72,950	2,400	75,350	116	75,467
セグメント間の 内部経常収益	824	268	1,092	1,856	2,949	△2,949	—
計	65,700	8,342	74,043	4,257	78,300	△2,833	75,467
セグメント利益	16,019	171	16,191	1,179	17,371	△766	16,604

(注) 1 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、信用保証業務、不動産賃貸・管理業務、ソフトウェア開発等業務、クレジットカード業務及び証券業務等を含んでおります。

3 外部顧客に対する経常収益の調整額116百万円は、主に「その他」の償却債権取立益であります。

4 セグメント利益の調整額△766百万円は、セグメント間の取引消去に伴うものであります。

5 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	2,587百万円	2,823百万円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

2025年3月期第3四半期決算の概要は、以下のとおりであります。

(1) 2025年3月期第3四半期損益状況【連結】

- 当第3四半期の連結の業績は、営業経費および与信関連費用は増加しましたが、資金利益が大幅に増加し、役務取引等利益も増加しました。
- 以上の結果、「**経常利益**」は166億円、「**親会社株主に帰属する四半期純利益**」は107億円といずれも前年同四半期比増益となりました。また、通期業績予想に対する進捗は概ね順調に推移しています。

〔ご参考〕

(単位:百万円)

(単位:百万円)

		2025年3月期 第3四半期 (9ヵ月間)	前年同期比	2024年3月期 第3四半期 (9ヵ月間)	2025年3月期 通期公表業績予想 (年間)
1	連結粗利益	48,059	9,371	38,687	
2	資金利益	42,399	10,396	32,002	
3	役務取引等利益	8,624	716	7,908	
4	その他業務利益	△ 2,964	△ 1,740	△ 1,223	
5	営業経費	31,972	2,125	29,847	
6	貸倒償却引当費用	889	△ 285	1,174	
7	貸倒引当金戻入益	181	△ 2,136	2,318	
8	償却債権取立益	175	△ 64	240	
9	株式等関係損益	1,283	△ 46	1,329	
10	その他	△ 233	△ 1,120	886	
11	経常利益	16,604	4,163	12,440	18,500
12	特別損益	△ 88	△ 81	△ 7	
13	税金等調整前四半期純利益	16,515	4,082	12,432	
14	法人税等合計	5,731	2,190	3,541	
15	四半期純利益	10,784	1,892	8,891	
16	親会社株主に帰属する四半期純利益	10,784	1,892	8,891	13,000
17	与信関連費用	531	1,916	△ 1,384	
18	顧客向けサービス業務利益	6,765	1,173	5,592	

(注) 1. 連結粗利益=(資金運用収益－資金調達費用)＋(役務取引等収益－役務取引等費用)
＋(その他業務収益－その他業務費用)

2. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(2) 2025年3月期第3四半期損益状況【単体】

- 単体の業績については、経費は増加しましたが、資金利益および役務取引等利益が増加したことにより、「コア業務純益」は前年同四半期比88億円増加の170億円となりました。
- 与信関連費用は増加しましたが、「コア業務純益」が増加したことにより、「経常利益」は前年同四半期比39億円増加の160億円、「四半期純利益」は前年同四半期比17億円増加の105億円となりました。また、通期業績予想に対する進捗は概ね順調に推移しています。

(単位:百万円)

〔ご参考〕

(単位:百万円)

		2025年3月期 第3四半期 (9ヵ月間)	前年同期比	2024年3月期 第3四半期 (9ヵ月間)	2025年3月期 通期公表業績予想 (年間)
1	コア業務粗利益	47,044	10,956	36,088	
2	資金利益	42,838	10,318	32,520	
3	役務取引等利益	5,555	597	4,958	
4	その他の業務利益 (除く国債等債券損益)	△ 1,349	40	△ 1,389	
5	経費	30,029	2,086	27,943	
6	コア業務純益	17,014	8,869	8,144	18,200
7	コア業務純益 (除く投資信託解約損益)	15,581	4,136	11,444	
8	国債等債券損益	△ 1,702	△ 1,799	96	
9	実質業務純益	15,312	7,070	8,241	
10	業務純益	15,312	7,070	8,241	
11	臨時損益	707	△ 3,125	3,832	
12	うち株式等損益	1,283	△ 46	1,329	
13	うち不良債権処理額	558	△ 322	880	
14	うち貸倒引当金戻入益	143	△ 2,177	2,321	
15	うち償却債権取立益	98	△ 83	181	
16	経常利益	16,019	3,945	12,074	18,000
17	特別損益	△ 80	△ 73	△ 7	
18	税引前四半期純利益	15,939	3,872	12,066	
19	法人税等合計	5,349	2,166	3,182	
20	四半期純利益	10,590	1,706	8,883	12,500
21	与信関連費用	316	1,939	△ 1,622	
22	顧客向けサービス業務利益	5,528	1,159	4,368	

(3) 預金、貸出金の残高(単体)

(単位:億円)

		2024年12月末	2024年3月末比	2023年12月末比	2024年3月末	2023年12月末
1	預金等(末残)	59,790	1,637	1,336	58,153	58,454
2	預金	59,264	1,168	1,096	58,095	58,167
3	うち個人預金	44,653	689	462	43,963	44,191
4	譲渡性預金	526	469	240	57	286
5	貸出金(末残)	44,093	2,148	3,245	41,944	40,848
6	うち住宅ローン	11,750	160	216	11,589	11,534
7	(ご参考) 中小企業等貸出金(末残)	27,724	562	753	27,162	26,970

(注) 預金等=預金+譲渡性預金

(4) 個人預かり資産の残高(単体)

(単位:億円)

		2024年12月末	2024年3月末比	2023年12月末比	2024年3月末	2023年12月末
8	個人預かり資産	2,140	177	320	1,962	1,819
9	外貨預金	43	△1	△2	45	46
10	公共債	116	15	12	100	103
11	投資信託	1,980	164	310	1,816	1,670

(5) リスク管理債権(金融再生法開示債権)の状況(単体)

(単位:億円)

		2024年12月末	2024年3月末比	2023年12月末比	2024年3月末	2023年12月末
12	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	39	0	△3	38	42
13	危険債権	501	38	61	462	440
14	要管理債権	78	1	△11	77	90
15	三月以上延滞債権	4	1	2	2	1
16	貸出条件緩和債権	74	0	△14	74	88
17	小計(a)	619	41	46	578	573
18	正常債権	44,005	2,118	3,224	41,887	40,780
19	合計(b)	44,625	2,159	3,271	42,465	41,354
20	開示債権比率(a)/(b)	1.38%	0.02	—	1.36%	1.38%

(6) 有価証券評価損益 (単体)

(単位:百万円)

		2024年12月末			2023年12月末		
		評価損益	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
1	満期保有目的の債券	△ 191	11	202	△ 112	9	121
2	その他有価証券(a)	△ 6,858	57,630	64,488	5,725	54,744	49,018
3	株式	54,467	54,475	8	50,654	50,717	62
4	債券	△ 23,745	11	23,757	△ 12,022	872	12,894
5	その他	△ 37,580	3,143	40,723	△ 32,907	3,154	36,061
6	うち外貨債券	△ 17,803	107	17,911	△ 6,003	1,215	7,219
7	繰延ヘッジ損益(b)※	15,419			4,247		
8	繰延ヘッジ損益考慮後(a)+(b)	8,561			9,972		
9	うち外貨債券	△ 2,866			△ 1,756		

※ 繰延ヘッジ損益は税効果勘案前の数値を表示しております。

[ご参考]

		2024年3月末		
		評価損益	評価益	評価損
10	満期保有目的の債券	△ 76	17	93
11	その他有価証券(c)	17,403	66,308	48,905
12	株式	61,315	61,342	26
13	債券	△ 13,727	599	14,326
14	その他	△ 30,185	4,367	34,553
15	うち外貨債券	△ 11,325	4	11,329
16	繰延ヘッジ損益(d)※	10,052		
17	繰延ヘッジ損益考慮後(c)+(d)	27,455		
18	うち外貨債券	△ 1,335		

(7) 自己資本比率(国内基準)

2024年12月末の自己資本比率は、現在算定中であり、確定次第別途開示いたします。